

障害児教育・福祉に関する年表

明治

年号	行政など	障害児教育・福祉に関する社会の状況 (国際的なものも含む)	子供たちの生活	西暦
明治04 05	9.2 「文部省」設置 9.5 「学制」が頒布され「廃人学校アル ヘシ」と規定			1871 1872
08		京都の第19番校(後の「待賢小学校」) にろう哑教場開設		1875
09	3.15 訓盲所(楽善会訓盲院)が設立認 可			1876
11		5.24 京都に「盲哑院」が設立さ れ開業式を挙行		1878
12	9.29 「学制」を廃止、「教育令」を制定 (義務教育の規定を明確化)	4. 盲哑院は「京都府立盲哑院」 と改称		1879
13	12.28 「教育令」改正(就学に関する規定 を強化)			1880
14	1.29 「就学督責規則起草心得」通達	11.1 楽善会訓盲院は、按摩、導 引、鍼治の授業を開始		1881
17		5.26 楽善会訓盲院は「訓盲哑院」 と改称		1884
18	11.21 訓盲哑院は文部省直轄学校となる 12.4 文部省総務局に「訓盲哑院掛」を 置く			1885
19	4.10 「小学校令」公布(義務教育制度の 確立とともに、このとき初めて就 学義務の猶予について規定)			1886
20		10.5 訓盲哑院は「東京盲哑学校」 と改称		1887
22		12.17 京都府立盲哑院は「京都市 立盲哑院」と改称		1889
23	10.6 「小学校令」を改正(盲哑学校の設 置廃止に関する事項等を定め、就 学義務の免除を猶予とともに規定)			1890
24	11.17 「幼稚園図書館盲哑学校其他小学校 二類スル規則」制定(初めて盲哑 学校教員の資格任用等について規 定)	12.1 石井亮一が「孤女学院」を 創設(最初の精神薄弱児施設、 後の「滝乃川学院」)		1891
30 31	3.15 「学生生徒身体検査規程」制定	11.12 グラハム・ベルが来日し、 聾教育について各地で講演		1897 1898
33	8.20 「小学校令」改正(就学義務の免除 猶予及び、盲哑学校の小学校附設 について規定)			1900
36	3.6 「東京盲哑学校教員練習科卒業生服 務規程」制定			1903
38	3.10 東京盲哑学校に教員練習科を設置			1905
39	4.1 群馬県館林尋常小学校に特別な学 級を設置	(この年)鈴木治太郎は大阪府師範 学校付属小学校に「教育治療室」を 設置		1906
		10.13 「第1回全国聾哑大会」が開 催され、聾哑教育奨励案を 決議		
		10.23 東京・京都・大阪の3盲哑 学校長が、府県立の盲・聾 哑学校の設置準則について 文部大臣に建議(盲哑教育 の義務制と盲哑教育の分離 等)		
40	3.21 「小学校令」改正(義務教育年限が 6か年に延長) 4.17 文部省は各府県師範学校の付属小 学校に盲人、哑人、心身不完全な 児童のためできるだけ特別学級を 設けるよう訓令	5.11 「第1回全国盲哑学校教員 会」が東京盲哑学校で開催。 盲哑教育令の公布、盲哑教 育の義務制及び盲哑教育の 分離等を文部省に建議		1907
	(この年)岩手など師範学校付属小学校に 「劣等児学級」を設置 徳島など師範学校付属小学校に「盲哑学級」 を設置			
42	4.6 「東京盲学校」設置	(この年)日本盲人協会は点字図書 (教科書等)刊行		1909
43	4.1 東京盲哑学校を廃し「東京聾哑学 校」を設置			1910
	10.14 文部省は「訓盲楽譜」を刊行			
	11.15 「東京盲学校規定」「東京聾哑学校 規定」制定(東京盲哑学校時代の 教員練習科を改め、師範科を置く)			
	11.15 「東京盲学校並東京聾哑学校師範科 卒業生服務規程」制定			

大正

年号	行政など	障害児教育・福祉に関する社会の状況 (国際的なものも含む)	子供たちの生活	西暦
大正元年	7.25 文部省は「第1回盲啞学校教員講習会」を開催	5.25 東京盲学校は「内外盲人教育」を創刊		1912
02	11.20 文部省は「古川氏盲啞教育法」刊行			1913
03	11.15 文部省は「第1回学校衛生講習会」を開催(学校医を対象)	8.1 日本赤十字社は夏季児童保養所を開設		1914
06		8.1 白十字会は「林間学校」を創設(最初の常設虚弱児施設)		1917
09		4. 「日本聾啞学校」創設(口話法による最初の聾学校)		1920
10		5.1 柏倉松蔵は「柏学園」を創立(最初の肢体不自由児施設)		1921
12	8.28 「盲学校及聾啞学校令」公布 8.29 「公立私立盲学校及聾啞学校規定」制定 8.29 「東京盲学校規定」及び「東京聾啞学校規定」改正(師範部を置く)			1923
13	(この年から)文部省は毎年盲学校及び聾啞学校教員講習会を東京と地方で交互に開催	(この年から)聾啞教育補助を実施		1924
14	(この年)文部省は全国盲学校及び聾啞学校に関する諸調査をはじめて実施	1. 「第1回聾口話教員養成講習会」開催 4.1 京都市立盲啞院は、「京都市立盲学校」と「京都市立聾啞学校」に分離独立		1925

昭和

年号	行政など	障害児教育・福祉に関する社会の状況 (国際的なものも含む)	子供たちの生活	西暦
昭和元年	4. 東京市八名川尋常小学校に吃音学級を設置 4. 東京聾啞学校に難聴学級を設置 4. 東京市鶴巻尋常小学校に養護学級(虚弱児)を設置			1926
昭和02		4.1 児童愛護会は「一宮学園」を創設(最初の身体虚弱児の私立学校)		1927
昭和03	10.4 「学齢児童就学奨励規定」制定			1928
昭和04	4. 文部省著作教科書盲学校用「国語読本」、文部省著作教科書聾学校用「国語初歩」を初めて刊行			1929
昭和05		4.1 京都市立盲学校と京都市立聾啞学校はそれぞれ「京都府立盲学校」、「京都府立盲啞学校」となる	「オッケー」流行	1930
昭和06				1931
昭和07	6.1 「東京市立光明学校」創設(最初の肢体不自由学校)			1932
昭和08	12.11 東京市南山尋常小学校に弱視学級を設置(最初の弱視学級)			1933
昭和09	5. 東京市磯川尋常小学校に難聴学級を設置	10. 「日本精神薄弱者愛護協会」設立	東京音頭大ヒット	1934
昭和10	3.26 衆議院は「肢体不自由者救済教育令制定二閣スル建議」を議決		パーマメントの普及	1935
昭和11	(この年)文部省は学齢盲聾児童生徒調査を実施	(この年)日本精神薄弱者愛護協会は「愛護」を創刊		1936
昭和12	1.27 「学校身体検査規定」制定			1937
昭和13	12.8 教育審議会は「国民学校、師範学校及幼稚園二閣スル件」を答申(特殊教育の振興、特に盲・聾教育の義務制について答申)			1938
昭和15	4.30 「学校給食奨励規定」制定 6.29 「大阪市立恵育学校」創設(最初の精神薄弱学校)			1940
昭和16	3.1 「小学校令」を改正、「国民学校令」を公布 3.14 「小学校令施行規則」を改正、「国民学校令施行規則」を公布 5.8 「国民学校令施行規則第53条ノ規定ニ依ル学校又ハ学校ノ編成ニ関スル規定」制定(養護学級、養護学校の編制について規定)	4. 東京聾啞学校において、半年課程の聾啞学校教員養成講習会を開催		1941
昭和17		5.5 「整肢療護園」開園		1942

昭和18	3.2	「中学校規定」、「高等女学校規定」制定（身体虚弱その他身体に異常のある生徒のための学級編制について規定）				1943
	10.23	「教育二関スル戦時非常措置二関スル件」通達				
昭和19	4.24	東京都立九段中学校に養護学級を設置（肢体不自由児を対象）	学徒出陣			1944
昭和20	8.22	「集団疎開学童ノ教育二関スル件」通達				1945
	9.15	文部省は「新日本建設ノ教育方針」を発表				
	10.22	連合国軍総司令部は「日本教育制度二対スル管理政策二関スル件」を指令				
昭和21	4.1	「官立盲学校及聾啞学校官制」等公布	2.23	「全国聾啞学校職員聯盟」結成		1946
	4.7	連合国軍総司令部は「米国教育使節団報告書」を発表	7.	「日本盲教育会」が結成され、帝国盲教育会は解散		
	8.10	内閣に「教育刷新委員会」を設置				
昭和22	11.3	「日本国憲法」公布	4.1	小学校、中学校の義務教育制の実施（9年の義務制となる）		1947
	3.31	「教育基本法」公布	10.1	「臨時国勢調査」が実施され、その中で「盲・おし及びつんぼ」の数の調査（この年から）		
	3.31	「学校教育法」公布		「特殊教育教員再教育講習会」開催		
	5.23	「学校教育法施行規則」公布		盲・聾学校の戦災復旧に補助		
	12.	教育刷新委員会は「学制に関すること」に心身障害児の就学に関するることなど追加建議	8.17	「日本盲人会連合」結成		
	12.12	「児童福祉法公布」	9.3	「日本肢体不自由児協会」設立（この年から）		
昭和23	12.20	「あん摩、はり、きゆう、柔道整復等営業法」公布		「教育指導者講習」開催		
	4.7	「中学校の就学義務並びに盲学校及び聾学校の就学義務及び設置義務に関する政令」公布（盲学校・聾学校小学部への義務制が学年進行により施行）		昭和24年度の両年度にわたり、盲学校及び聾学校小学部教員臨時養成所を開設	ベンフレンド流行	1948
	7.15	「教育委員会法」公布（この年から）盲学校・聾学校の小学部・中学部の建物の新増築について補助	4.1	「東京盲学校」及び「東京聾学校」は、「国立盲教育学校、同付属盲学校、及び「国立聾教育学校、同付属聾学校」と改組	10.4	警視庁、少年ヒロポン患者の取締りを命令
昭和24	1.12	「教育公務員特例法」公布	9.	「特殊教育教育連盟」結成（後の「全日本特殊教育研究連盟」）		1949
	5.31	「教育職員免許法」公布	1.27	「盲・聾学校運営全国協議会」開催		
	12.26	「身体障害者福祉法」公布		「特殊教育研究集会（特殊教育ワークショップ）」開催（この年から）山梨県立盲学校は盲聾重複障害児の教育を開始		
昭和25	4.1	「国立学校設置法」の改正により、「国立盲教育学校、同付属盲学校」及び「国立聾教育学校、同付属聾学校」は東京教育大学に併設される	4.	「東京教育大学国立盲教育学校」及び「東京教育大学国立聾教育学校」は、「東京教育大学教育学部」特設教員養成部となる		
	4.1	「門司市立白野江養護学校」創設（最初の公立病弱養護学校）		「東京教育大学国立盲教育学校付属盲学校」及び「東京教育大学国立聾教育学校付属聾学校」は、東京教育大学教育学部の付属学校となる（これらの学校は、昭和48年度から東京教育大学の、昭和53年度から筑波大学の付属学校となる）		
昭和26	1.	「意常児鑑別基準作成委員会」設置	1.30	「第1回全国特殊学級研究協議会」開催		
	4.1	東京教育大学教育学部に特殊教育学科を設置	7.	「精神薄弱児育成会（手をつなぐ親の会）」結成		
	5.5	「児童憲章」制定	9.	「整肢療護園の入園児に対し東京教育大学付属小学校は講師を派遣して教育を開始」		
	6.11	「産業教育振興法」公布	10.21	「全国盲学校理療科教員連盟」結成		
昭和27	6.6	「中央教育審議会」設置	4.1	広島大学教育学部に盲学校教員養成課程を東京学芸大学に聾学校教員養成課程初めて設置	4.	「鉄腕アトム」連載開始
	8.1	文部省初等中等教育局に特殊教育室設置		「精神薄弱児実態調査」実施		1952
	8.8	「義務教育費国庫負担法」公布				
昭和28	6.8	「教育上特別な取り扱いを要する児童生徒の判別基準について」通知				
	7.25	中央教育審議会「義務教育に関する答申」（特殊教育の振興について答申）				
	8.8	「理科教育振興法」公布				
	8.8	「学校図書館法」公布				
	8.28	「公立学校設置費国庫負担法」公布				
	8.28	「危険校舎改築促進臨時措置法」公布				
	10.31	「学校教育法施行令」公布				
	10.31	「学校教育法中同法第39条第1項に規定する盲学校及びろう学校の就				

	学に関する部分の規定の施行期日を定める政令」公布（盲学校・聾学校中学部への義務制が昭和29年4月1日から学年進行により施行）			
昭和29	11.9 「精神薄弱児対策基本要綱」事務次官会議で決定			
	6.1 「盲学校、ろう学校及び養護学校への就学奨励に関する法律」公布	（この年）「肢体不自由児及び身体虚弱児実態調査」実施	11.3 「ゴジラ」封切	
	6.3 「学校給食法」公布	（この年から）「特殊学級教員養成講習会」開催		1954
昭和30	12.6 中央教育審議会「特殊教育及びへき地教育進行についての答申」			
	9.30 文部・厚生・労働三省は「義務教育諸学校における不就学および長期欠席児童生徒他対策要綱」を通知	3.18 「養護学校・特殊学級整備促進協議会」結成	マンボブーム 家庭電化時代	
	（当年度限り）養護学校建物の新築について国庫補助	8.23 「肢体不自由児教育協議会」設立（後の「全国肢体不自由教育研究協議会」に吸収）		1955
		10.20 「第1回アジア盲人福祉会議」東京で開催		
昭和31	4.1 文部省初等中等教育局特殊教育室を廃止、特殊教育事務は初等・特殊教育課の所掌となる	（この年）「盲・弱視児及び聾・難聴児実態調査」実施		
	4. 「大阪府立養護学校」、「愛知県立養護学校」創設（最初の公立肢体不自由養護学校）	4. 全国精神薄弱児育成会が「手をつなぐ親たち」を創刊	11.12 「スーパーマン」放送開始	1956
	6.14 「公立養護学校整備特別措置法」公布	8.2 「第1回肢体不自由児教育研究発表会」開催		
	6.30 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」公布	12. 全日本特殊教育研究連盟は「児童心理と精神衛生」を創刊（後の「精神薄弱児研究」）		
昭和32	1.19 「東京都立青島養護学校」創設（最初の公立精神薄弱養護学校、この前身は、昭和22年に設置された東京都品川区立大崎中学校特殊学級）	（この年から）「特殊教育指導者要請講座」開催、「盲学校特殊教科（理療）教員講習会」開催		1957
	3.15 盲学校及び聾学校について、それぞれ小学部・中学部学習指導要領一般編を通過	3.15 「全国養護学校長会」結成		
	5.20 「盲学校、聾学校及び養護学校の幼稚部及び高等部における学校給食に関する法律」公布	6.14 「第1回全国肢体不自由児教育研究協議会」開催		
	6.1 「学校教育法」の一部改正（養護学校への就学を就学義務の履行とみなすことを規定）			
昭和33	8.1 特殊教育に関する事務は初等・特殊教育科から分離、特殊教育主任官の所掌となる			
	1.29 文部省は「国立療養所における入所児童の教育について」を通過	1.16 「日本盲教育研究会」結成（後の「全日本盲学校教育研究会」）	フラフープブーム 長島新人王	1958
	3. 盲学校及び聾学校について、それぞれ小学部・中学部指導要録作成	7.4 「全国肢体不自由児養護学校PTA連合会」結成		
昭和34	4.1 「東京教育大学教育学部附属養護学校」（肢体不自由）創設（後の「筑波大学附属桐が丘養護学校」）	11.26 「盲聾教育80周年記念式典」挙行、「盲聾80年史」刊行	週刊誌創刊ブーム「少年マガジン」「少年サンデー」等 だっこちゃんブーム	1959
昭和35	4.10 「学校保健法」公布	7.14 「第1回肢体不自由児養護学校義務設置促進大会」開催		
	4.25 「義務教育諸学校施設費国庫負担法」公布	4.1 東京学芸大学及び広島大学教育学部に初めて養護学校教員養成課程を設置		1960
	5.1 「公立義務教育諸学校の学級編成及び教職員定数の標準に関する法律」公布	8.27 「全国病弱虚弱教育研究連盟」結成		
昭和36	12.7 中央教育審議会「特殊教育の充実振興についての答申」	11.10 「全国肢体不自由児父母の会連合会」結成		
	2.6 盲学校及び聾学校について、それぞれ高等部学習指導要領一般編を通過	（この年から）聾学校職業教育講座開催	「現代っ子」 「巨人・大鵬・玉子焼き」	1961
	3.31 「精神薄弱者福祉法」公布			
昭和37	4.1 「東京学芸大学附属養護学校」（精神薄弱）創設	（この年）「弱視教育研究会」結成（後の「日本弱視教育研究会」）	「おそ松君」連載開始	1962
	4.1 「東京教育大学教育学部附属大塚養護学校」（精神薄弱）創設（後の「筑波大学附属大塚養護学校」）	（この年から）機能訓練実技講習会開催		
	7.25 「身体障害者雇用促進法」公布	（この年）		
	10.31 「学校教育法」一部改正（「第6章 特殊教育」大幅改正）	「全国特殊学校長会」結成		
	11.6 「公立高等学校の設置、適正配置及び教職員定数の標準等に関する法律」公布	「言語障害児を持つ親の会」結成		
昭和38	3.31 「学校教育法施行令の一部を改正する政令」公布（盲学校、聾学校及び養護学校の対象となる盲者等の心身の故障の程度を規定）	「全国盲学校PTA連合会」結成	1.1 「鉄腕アトム」放送開始	1963
	3.31 「義務教育諸学校の教科用図書の無償に関する法律」公布	4.1 弱視教育研究会は「弱視教育」を創刊	「かぎっ子」登場 ボウリングブーム	
	4.1 文部省初等中等教育局特殊教育主	11.23 「日本特殊教育学会」創設	11.27 「8（エイト）マン」放送開始	
		（この年）「全国聾学校PTA連合会」結成		

	任官を廃止，特殊教育課を設置 10.18 「学校教育法および同法施行令の一部改正に伴う教育上特別な取り扱いを要する児童・生徒の教育的措置について」通達 11.12 教育職員養成審議会は「教員養成制度の改善について」を建議 (この年から)盲学校・聾学校の高等部の建物の新増築について国庫補助 3.30 文部省著作「盲学校小学部国語補充教材(各学年用)」発行(弱視用大型活字の教科用図書) 4.1 養護学校学習指導要領通達(小中学部精神薄弱教育編，小学部肢体不自由教育編及び小学部病弱教育編) 8.16 教育課程審議会は「盲学校・聾学校教育課程の改善について」を答申(小学部の教育課程) 12.21 「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」公布 12.23 「盲者，聾者等の就学の適正な措置と指導について」通達			
昭和39	3.23 盲学校及び聾学校について，それぞれ学習指導要領小学部編を告示 3.27 養護学校学習指導要領通達(中学部肢体不自由教育及び中学部病弱教育編) (この年)文部省著作教科書養護学校(精神薄弱)用「算数」，「音楽」を初めて刊行 2.27 盲学校及び聾学校について，それぞれ学習指導要領中学部編を告示 6.29 「理学療法士及び作業療法士法」公布 (この年から)養護学校高等部の建物の新増築について国庫補助 2.21 「盲学校及び聾学校の高等部の学科を定める省令」公布 3.5 盲学校及び聾学校について，それぞれ学習指導要領高等部編を告示 4.1 東京教育大学大学院教育学研究科に特殊教育専攻を開設 7.1 「就学義務猶予免除者の中学校卒業程度認定規則」制定 (この年から)特殊教育諸学校の幼稚部の建物の新増築について国庫補助	3.31 日本特殊教育学会は「特殊教育研究」を創刊 6.22 「第1回全国特殊教育振興大会」開催 11.1 「全国特殊学級設置学校長協会」結成 12.3 「全国特殊教育推進連盟」結成 (この年から)「特殊教育教育課程研究会」地区別集會・全国大会開催 (この年から)「特殊教育学校寮母講習会」開催 「心身障害児判別・就学指導事務講習会」開催 (この年)「全日本聾教育研究会」結成 (この年から)「特殊教育内地留学制度」開始 8.29 「全国筋ジストロフィー症児教育研究会」結成 8. 「自閉症児の親の会」結成 (この年)「精神薄弱養護学校全国PTA連合会」結成 「全国情緒障害児教育研究会」結成 (この年から)「言語障害担当教員講習会」開催 (この年)東京学芸大学に言語障害児教育教員養成課程を設置 4.1 東京教育大学教育学部に理学療法科教員養成施設を設置 (この年)全都道府県に肢体不自由養護学校が設置 (この年から)沖縄の風疹障害児の調査及び指導を開始 2.1 日本肢体不自由教育研究会は「肢体不自由教育」を創刊 7.1 「全国病弱教育諸学校PTA連合会」結成 (この年)「機能訓練等担当教員講習会」開催 (この年から)「盲学校リハビリテーション科担当教員講習会」開催 「情緒障害担当教員講習会」開催 3.25 日本点字委員会は「日本点字表記法(現代語編)」を刊行 7.22 「全国聴覚障害者親の会連合会」結成 (この年)「養護・訓練担当教員講習会」開催 「全国公立学校難聴言語障害児教育研究協議会」結成 (この年)「特殊教育拡充整備計画」策定 「就学猶予・免除児実態調査」実施	4.4 「ひょっこりひょうたん島」放送開始 5.5 こどもの国開園 メンズファッション流行 おばQ人気 ビートルズ旋風 グループサウンズ ミニスカート流行 ヒッピー族流行 「天才バカボン」連載 ノンポリ学生 深夜放送ブーム フォークソングブーム SL(蒸気機関車)ブーム 4.3 「仮面ライダー」放送開始 ヘンシンごっこ流行 「エースをねらえ」連載開始	1964 1965 1966 1967 1968 1969 1970 1971 1972
昭和40				
昭和41				
昭和42				
昭和43				
昭和44	(この年)「児童生徒の心身障害に関する調査」実施 (この年から)「重複障害教育調査海外派遣費補助」開始 特殊教育諸学校の幼稚部の危険建物の改築について国庫補助 「特殊教育推進地区」指定 8.30 特殊教育総合研究調査協力者会議は「特殊教育総合研究機関の設置について」を報告 3.28 特殊教育総合研究調査協力者会議は「特殊教育の基本的な施策のあり方について」を報告 5.21 「心身障害者対策基本法」公布 10.23 教育課程審議会は「盲学校，聾学校および養護学校の教育課程の改善について(小学部・中学部)」を答申			
昭和45				
昭和46				
昭和47	3.13 盲学校，聾学校及び養護学校について，それぞれ小学部・中学部学習指導要領を告示 10.1 「国立特殊教育総合研究所」設置			
昭和48	6.11 中央教育審議会は「今後における学校教育の総合的な拡充整備のための基本的施策について」を答申 教育課程審議会は「盲学校，聾学校および養護学校の教育課程の改			
昭和49				
		4.1 東京学芸大学，広島大学及び熊本大学の教育学部に初		1973 1974

	7.3 善について（高等部）」を答申 教育職員養成審議会は「教員養成 の改善方策について」を建議 10.27 盲学校、聾学校及び養護学校につ いて、それぞれ高等部学習指導要 領告示 （この年から）国立特殊教育総合研究所研 修事業開始	めて特殊教育特別専攻科を 設置 （この年） 「長期欠席児童生徒実態調査」実施 国立の全教員養成大学・学部に養護 学校教員養成課程を設置		
昭和50	7.15 文部省編集「特殊教育」創刊 7.20 「教育職員免許法」の一部改正（教 員資格認定試験制度を創設） 9.29 「国立久里浜養護学校」創設 11.20 「学校教育法中養護学校における就 学義務及び養護学校の設置義務に 関する部分の施行期日を定める政 令」公布（施行期日は、昭和54年 4月1日）	5.24 「財団法人重複障害教育研究 所」設立 8.25 「聴覚障害児教育国際会議 （東京大会）」開催 11.10 「第2回アジア精神薄弱会議 （東京大会）」開催	偏差値ブーム 落ちこぼれ	1975
昭和51 昭和52	（この年から）養護学校教育義務制等準備 活動費、訪問指導員経費及び介助職員経費 について国庫補助 3.31 特殊教育の改善に関する調査研究 所は「重度・重複障害児に対する 学校教育のあり方について」を報 告	5.「全国病弱・障害児教育推進連 合会」結成 （この年から）「訪問指導担当職員講 習会」開催	国際児童年	1976 1977
昭和53	国連で「障害者の権利宣言」			
昭和54	5.28 「身体障害者雇用促進法」改正		インベーダゲーム流行 校内暴力 ウォークマン登場 スポーツ飲料ブーム 4.8 アラレちゃん言葉流行	1979 1980
昭和55	8.12 特殊教育に関する研究調査会は「軽 度心身障害児に対する学校教育の 在り方」を報告	4. 養護学校義務制の実施		1981
昭和56	8.18 「学校教育法施行令及び学校保健法 施行令の一部を改正する政令」公 布（養護学校における就学義務の 施行に係る関係規定等を整備）	4. 埼玉県、在宅介護障害者地 域福祉促進事業発足		1983
昭和58		5.25 障害に関する用語整理 聴導犬（ヒアリングドッグ）訓練の 開始 3. 福祉関係者の資格制度とし て、「社会福祉士」と「介護 福祉士」が新設される 4. 老人保健施設の第1号が オープン 5. 子どもの人権救済センター 在宅老人サービス事業	お嬢様ブーム 朝シャン流行	1985 1986
昭和60	国際障害者年 国連・障害者の10年 精神保健法公布		ビックリマンシール流行	1987
昭和61	10.28 厚生省、「福祉医療制度」創設を決 める 厚生省、手話通訳士を国家資格に 導入			1988
昭和62	7.1 精神衛生法一部改正 厚生省、ウエル・エイジング・コ ミュニティ構想 厚生省、老人保健福祉推進10か年戦略 （ゴールドプラン）			（1989）

平成

年号	障害児教育・福祉に関する社会の状況 （国際的なものも含む）	行政など	子供たちの生活	西暦
平成01	10.15 ソウルで障害者五輪（第8回）開 催 児童の権利に関する条約が国連総 会で採択			1989
平成02	11. 盲人用はがき発売開始 パートナードッグを育てる会設立	文部省、情緒障害児福祉施設の教育 力を認める	ちびまるこちゃんスタート スーパーファミコン発売 生活科創設 大学入試センター試験実施 占いブーム おまじないグッズ流行 学校週休二日制（実験校のみ） 清潔症候群 フリーター 40人学級実施	1990
平成03	4. 日本退職者福祉協議会発足 学習障害（LD）児 ケアハウス 児童手当実施 老人デイケア 特別養護老人ホーム需要急増 ショートステイ 老人訪問看護	4. 国民年金基金発足（予定） 文部省、学習障害（LD）児 調査研究協力者会議（研究 協力校を指定） 自治省、高齢者保健福祉推 進事業 文部省、40人学級実施 老人保健法改正 精神薄弱者・痴呆性高齢者 権利擁護センター設立 10. 精神保健法改正 6. 通級制度実施	4.5 尾崎豊急逝 9.12 学校集5日制月1回、始ま る 飛び級	1991 1992
平成04	シルバーマンション 知的障害者 デイ・ケア パニック障害病名として認知される			

平成05	盲導犬ロボット本格的な実用化を目指す研究がスタート 4. 全国精神障害者団体連合会結成大会 5. 福祉用具の研究開発及び普及の促進に関する条約 5. 用語「精神薄弱」問題 9. 障害児・者人権ネットワーク発足 老人保健福祉計画 12. 障害者基本法	厚生省，障害者対策に関する新長期計画 12. 障害者基本法	2.3 NHKスペシャルでの「やらせ」発覚 5.15 Jリーグスタート	1993
平成06	5. 児童の権利に関する条約を批准 9. ハートビル法（高齢者，身体障害者が円滑利用できる特定建築物促進法） ケア・ハウス バリアフリー住宅 ホームヘルパー パートナーシップ 高齢社会対策基本法 国際医療福祉大学開校予定	4. 厚生省，21世紀福祉ビジョン	5.1 セナ激突死 大河内清輝君自殺	1994
平成07	6. 世界福祉イニシアチヴ 7. 高齢社会対策大綱 8. 第1回ろう＆難聴少年による手話弁論大会	障害者対策推進本部が決定	カードダス20大ヒット	1995
平成08			7.6 1995年の出生数・率，過去最低 7.13 堺市でO-157発生 7.31 O-157，伝染病に指定 スクールカウンセラー配置 丸刈り校則見直しへ 交通事故死1万切る たまごっち流行 学校週5日制月2回	1996
平成09		厚生省，公的介護保険制度	5.4 奈良で中2女子自殺事件 5.27 神戸小学校連続殺人事件発覚 ポケモン流行 ポケモンで失神など多数 交通事故死1万切る	1997

（野村和雄・岸本直子・松永郁美）